

スリーブの作り方

AQS(パドゥーカ)もIQA(ヒューストン)も特殊な吊り金具を使ってキルトを展示します。

そこで、下記のような余裕のあるスリーブをつけるように求められています。

- 1 スリーブの布をキルトと同じ幅で、長さ21cm(8.5インチ)にカットします。
スリーブの端は2回(6.5mm)折り曲げて仕上げます。
写真のように長辺の端が真ん中に来るようにしてアイロンで折り目をつけます。最初に半分に折って、折り目をつけ、そこに布の端を合わせると簡単にできます。



- 2 裏を外側にして二つ折りにして、端から6.5mmのところを縫います。縫った後は表を外に出すように返します。



- 3 折り目をハッキリさせるようにするため、もう一度アイロンをかけます。



- 4 スリーブの中心(長手方向)がキルトの中心に来るように、ピンで留めます。
この時、キルトの上端から、1.3cm~2cmほど下にくるようにします。
これはキルトをつるす時に下げるときスリーブが隠れるようにするためです。



- 5 スリーブを折り目に沿ってキルトにピンで留め、ブラインド・ステッチで縫いつけます。下端の折り目もピンで留めて縫います。キルト側のスリーブは折り目から折り目まで、フラットになるようにします。反対側は膨らんだ状態になります。これは、吊り金具によりスリーブを痛めることがないようにするためです。



- 6 この写真は吊り金具が取り付けられた時のものです。
金具によって、スリーブが中に食い込んでいるのがわかります。そのために、スリーブの余裕が必要です。

